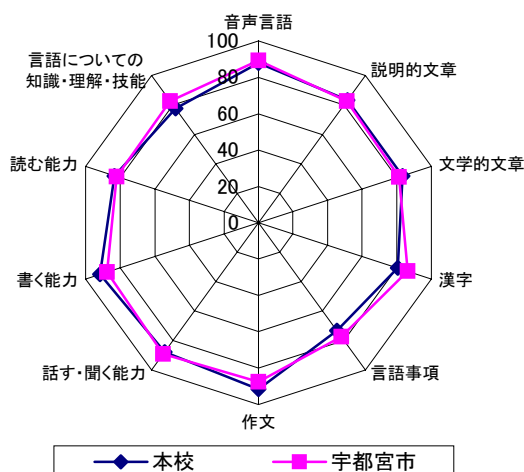


宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	87.9	89.2
	説明的文章	83.2	82.7
	文学的文章	83.2	81.3
	漢字	80.5	86.3
	言語事項	73.4	77.5
	作文	91.5	87.4
観点別	話す・聞く能力	87.9	89.2
	書く能力	91.5	87.4
	読む能力	83.2	82.0
	言語についての知識・理解・技能	77.7	82.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (87.9%)	平均正答率は、本年度87.9%で、市全体の正答率89.2%と比べてもほぼ同程度である。話の内容を聞き取り大石さんの意見に対する自分の立場は書くことができたが、その理由について明確に書くことが難しかったようである。	日常的に「話す・聞く」活動を取り入れ、話の要点の聞き取り方や、まとめ方等を指導する。総合や国語などでインタビューするときなど、話の内容をメモしながら聞くことにより、正確に聞く能力を高め話の内容が理解できるように練習していきたい。一分間スピーチなどの場で話す練習もしていきたい。
説明的文章 (83.2%)	平均正答率は、本年度83.2%で、市全体の正答率82.7%と比べてもほぼ同程度である。文脈に即した内容の理解ができ、筆者の意見の根拠を明らかにすることができた。段落と段落の関係を読み取ることが苦手なようである。	段落ごとに要点をまとめる練習をしていきたい。また、段落相互の関係や接続語の意味にも注意して内容をとらえられるようにしていきたい。段落相互の関係から文章全体の構成を理解できるように指導していきたい。
文学的文章 (83.2%)	平均正答率は、本年度83.2%で、市全体の正答率81.3%と比べるとやや上回っている。登場人物の様子や心情を読み取る力が付いている。文脈に即した比喩表現の理解力が不足しているようである。	読書活動を通して、文学的文章により親しませていく。また、物語教材では、引き続き登場人物の心情や場面の様子、主題の捉え方について十分指導するとともに、主語・述語の関係を抑えながら読み取らせていきたい。朗読カードの有効活用もしていきたい。
漢字 (80.5%)	平均正答率は、本年度80.5%で市全体と比べると下回っている。3.5.6年の漢字の読み書きの正確さに欠けているようである。へんやつくりが曖昧になっていたようである。	正確さを身につけるために、書き順や字形に気をつけながら漢字練習をしたり繰り返しミニテストで確認することで書く能力を高めたい。また、ノートや作文、日記、手紙等、日頃から文章の中で適切に使うことを意識させたい。
言語事項 (73.4%)	平均正答率は、本年度73.4%で市全体と比べると下回っている。ことわざについてはよく理解しているが敬語の使い方が曖昧である。	普段の生活の中でも、積極的に漢字辞典を活用することで辞典の引き方について練習していきたい。また、敬語については、普段の会話の中でも正しい使い方を意識づけ身に付けさせたい。
作文 (91.5%)	平均正答率は、本年度91.5%で市全体の正答率87.4%と比べると上回っている。始めのあいさつ、依頼の言葉と依頼の理由を入れた本文、終わりのあいさつ、後付けを入れてお願いの手紙文を書くことができています。	今後も朝の学習の作文指導や、感謝の手紙、調べ学習の依頼の手紙など、それぞれのテーマに合った文章が書けるよう指導をしたり、いろいろな手紙文の条件を確認しながら、わかりやすい手紙文がスムーズに書けるように指導をしていきたい。